

福岡市総合図書館映像ホール
Fukuoka City Public Library Movie Hall

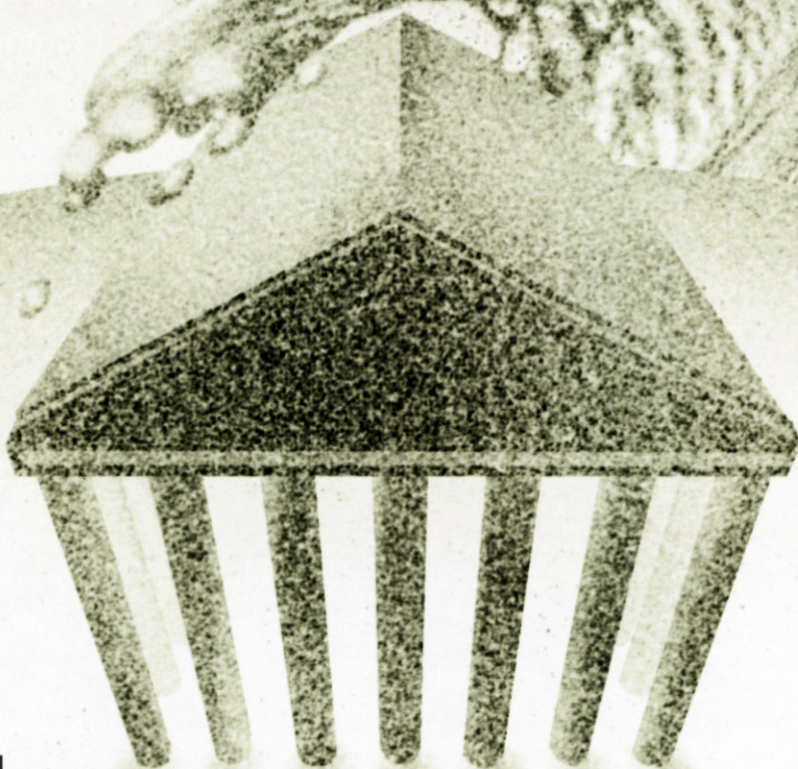
シネラ

Ciné-là

シネラ・ニュース
June.2001 No.59

特別企画

地中海映画祭



特別企画

Image Forum Festival

イメージフォーラム・フェスティバル 2001

6

『地中海映画祭』 イラスト:山下良平

特別企画



日本最大の実験映画のコンペティションであるイメージフォーラム・フェスティバル。日本全国から応募されてきた454本以上の作品から、優秀作品を選出。映像作家の招待作品と併せて、映像の“今”を紹介する。

会期：6日(水)～10日(日)

観覧料：1,000円(当日1回券)
800円(前売り1回券)
2,100円(3回券)
4,500円(フリーパス券)

※定員制、各回入替制。

※前売り券はローソンチケット(092-844-9999)、チケットぴあ(092-708-9999)で発売中。
※高齢者及び障害者割引はありません。

主催：イメージフォーラム・フェスティバル実行委員会
福岡市総合図書館 横浜美術館 イメージフォーラム

PROGRAM A 6日(水)14:00

「前衛映画のためのレクイエム」シリーズ
1999年～2000年/ビデオ/20分/末岡一郎
「映画のクリシェ」シリーズ
2000年～2001年/8ミリ/15分/末岡一郎
「放飼」2000年/ビデオ/7分/武藤浩志 <一般公募部門入選>
「じつと窓から」2000年/8ミリ/33分/ほしのあきら+内野徹
「版#13、#14、#12及び#10」
2000年/16ミリ/7分/伊藤隆介 <一般公募部門入選>
「風の呼吸」2001年/16ミリ/8分/田網敬一+相原信洋

PROGRAM B 6日(水)16:30

「双頭女」2001年/ビデオ/34分/寺嶋真里
「Dé-Sign12(シニフィアンス)」
2001年/ビデオ/10分/VISUAL BRAINS(風間正+大津はつね)
「three minutes out」
2000年/8ミリ/3分/田端志津子 <一般公募部門奨励賞>
「極私的にEBIZUKA」2001年/16ミリ/40分/鈴木志郎康

PROGRAM C 6日(水)19:00

「月球儀少年」2000年/35ミリ/28分/山田勇男
「静物映画集」2001年/16ミリ/8分/黒川芳男
「[cameRa]」
2000年/ビデオ/33分/徳永富彦 <一般公募部門入選>
「Lady...Go!!」2001年/ビデオ/2分/中西義久
「カラエナ」2000年/ビデオ/7分/岩田勝巳+池田泰教
<一般公募部門審査員特別賞>
「いつか来る道」2001年/16ミリ/15分/かわなかのぶひろ

PROGRAM D 9日(土)13:30

「男のサービスエリア」2000年/ビデオ/41分/樋渡麻実子
<一般公募部門入選>
「TIMESCAPE」2001年/16ミリ/16分/宮崎淳
「Sync Pic あつ!画を見てから音が聞こえる」
2001年/16ミリ/15分/奥山順市
「FADE into WHITE #2」2000年/ビデオ/11分/五島一浩
<一般公募部門大賞>

PROGRAM E 7日(木)19:00

「ファスナーと乳房」2001年/ビデオ/71分/白川幸司
「RJ」2000年/ビデオ/6分/斎藤正和+手嶋林太郎
<一般公募部門奨励賞>
「めまい」2001年/16ミリ/10分/伊藤高志

PROGRAM F 8日(金)19:00

「京島3丁目2番地の路地の子」1999年/ビデオ/18分/帯谷有理
「RELATIVE TIME-TABLE 2001」2001年/16ミリ/7分/太田曜
「管めよ、管め誤えよ」2000年/8ミリ/25分/秋浜瑞紀
<一般公募部門奨励賞>
「UMINAMI YAMANAGI」2001年/8ミリ/30分/万城目純



FADE into WHITE #2



MONGOLIAN PATY



愛の可能性



めまい



アルタイラ



双頭女

PROGRAM G 9日(土)16:00

「万城目純作品集「セカイの入り、ヒカリの出力」」
「Seraphita(セラフィタ)」1993年/8ミリ/4分
「[Nul]」1995年/8ミリ/15分
「[Smelange(スメラシユ)]」1991年/8ミリ/4分
「[MONGOLIAN PATY]」1996年/16ミリ版/16分
「[ANALA]」1999年/ビデオ版/23分
「[A.I.R.]」1998年/8ミリ/25分 ※パフォーマンス付き
トーク：万城目純(来福)

PROGRAM H 9日(土)11:00

「ブラザーズ・クエイ特集(イギリス)」
「デュエット」1999年/ビデオ/16分
「砂男」2000年/ビデオ/41分
「アブセンティア」2000年/35ミリ/22分

PROGRAM I 8日(金)14:00

「セントラル・ヴァレー」
1999年/16ミリ/90分/アメリカ/ジェームス・ベニング

PROGRAM J 7日(木)14:00

「チャン・ソヌ変奏曲」
2001年/ビデオ/119分/韓国/トニー・レーンズ

PROGRAM K 7日(木)16:30

「ベルギーの花、ブリュッセルの芽(ベルギー)」
「被服#1:美」1999年/ビデオ/7分/リュック・コンベルノル
「"ABSTRACT"の"A」
2000年/ビデオ/11分/ポール・アドリアンセン
「ようこそ」2000年/ビデオ/3分/ジェニファー・デボシュ
「[ファイル]」2000年/ビデオ/25分/カート・ダーゼーレル
「[シュレティンガーの猫]」
2000年/ビデオ/3分/ヘニング・ブロンジャ
「[ポートレート]」2000年/ビデオ/2分/永井魅恵
「彼女は見た」
1999年/ビデオ/13分/ピーター＝ポール・モルティエ
「後ろ向き」
2000年/ビデオ/5分/アネミー・ヴァン・ケルホーベン
「[フラワー・シリアル・キラー]」
2000年/ビデオ/4分/パスカル・ベルニエ

PROGRAM L 10日(日)16:00

「アンダーグラウンド」
1998年/35ミリ/10分/エストニア/マティ・キュット
「1000の映画の予告編」1999年/ビデオ/2分/アメリカ/
ジェームス・エレイン+ビル・バジンスキー
「セントラル・ホテル」
2000年/ビデオ/10分/イギリス/マット・ハルス
「ハ、ハ」2000年/ビデオ/2分/香港/フン・ケン
「ロミオ・ジュリエット」1999年/ビデオ/16分/オーストリア/reMI
「家族のトロフィー」
1998年/ビデオ/3分/オーストリア/エラ・ライテル
「自殺ボックス」
1996年/ビデオ/13分/アメリカ/インヴァース・テク/ロジャー局
「[ハラボラ]」
1999年/ビデオ/6分/オーストリア/フロラ・ヴァツツアル
「[霧]」2000年/ビデオ/12分/
ルクセンブルグ＝ドイツ＝オーストリア/マティアス・ミューラー
「愛の可能性」
1999年/35ミリ/15分/エストニア/ヤン・ポルドゥマ
「[アウトスベース]」
1999年/35ミリ/10分/オーストリア/ピーター・チェルカスキー

PROGRAM M 8日(金)16:30

「アーキベラグTV」1998年/ビデオ/16分/スウェーデン/
キュレーター：ハンス・ウルリッヒ・オプリスト
「ポート2」2000年/ビデオ/2分/イギリス/
ジョン・ウッド+ポール・ハリソン
「突発的東京現象」2000年/16ミリ/34分/平尾忠志
「部屋、2つの鏡」
2000年/16ミリ/20分/アメリカ/ニック・コリンズ
「リヴィングルーム」
2000年/16ミリ/21分/アメリカ/マイケル・スノウ

PROGRAM N 10日(日)13:30

「たゆたい」2000年/16ミリ/35分/アメリカ/ピーター・ハットン
「車窓より」1998年/16ミリ/4分/カナダ/イアン・トウズ
「[テスト]」1997年/16ミリ/3分/アメリカ/クリー・ライタラ
「夜明け前」2000年/16ミリ/9分/アメリカ/ジェイニー・ガイザー
「死と惨劇のサウンドエフェクト」2000年/ビデオ/6分/
イギリス/ロバート・ハーディ+ジョン・ロウリー
「[月の魔法]」1997年/ビデオ/5分/アメリカ/アニー・ボニー
「恋する水鏡」2000年/ビデオ/34分/イギリス/
ステイプ・ハウリー

PROGRAM O 10日(日)11:00

「ルイス・クラール特集(アメリカ)」
「アルタイラ」1994年/16ミリ/8分
「[エングラム・セパルス]」2000年/16ミリ/6分
「[エルサ・カーク]」1999年/16ミリ/5分
「[ボニー・グラス]」1997年/16ミリ/15分
「[ゴービнда]」1999年/16ミリ/23分
「[フェミニンなふくらみ]」1994年/16ミリ/9分
「[カナダが失敗した作戦]」1999年/16ミリ/15分

It's a Long Road

その 長き 道のり

15日(金)19:00

17日(日)14:00



日本語字幕

自殺した息子の真の姿を求めて軍の駐屯地へ赴く考古学者、
密猟者に悩まされながら頑固に猟場を守る番人、冷酷な妻のた
めに一人きりつけのクラブで憂鬱を晴らす工場長、何れもギリシ
ヤの辺境の地を舞台に、老境にさしかかった男達の人生を描く
三話オムニバス映画。ギリシャ映画界の巨匠ヴルガリス監督作品。
1998年/35ミリ/カラー/118分/ギリシャ
監督：パンテリス・ヴルガリス 出演：ティモリス・カタリフォス

From the Edge of the City

エッジ オブ ザ シティ

14日(木)16:00

17日(日)17:00



日本語字幕

17才のサーシャは昼は建設現場で働き、夜は売春婦を買う毎日だ。
アテネを舞台に麻薬、売春、殺人などの犯罪に手を染めていくカザ
フスタンからの移民の少年を描いた野心作。登場する少年達はほ
とんどが実際のストリートキッズで、噴き出すような少年達のエネ
ルギーが描かれ、今までにないギリシャ映画として絶賛された作品。
1998年/35ミリ/カラー/90分/ギリシャ
監督：コンスタンティノス・ヤナリス 出演：スタティス・パバドプロス

Greece

Morocco

Destiny

運 命

21日(木)16:00

24日(日)11:00



日本語字幕

医師のトフェックと妻のソフィアは眼科医の学会に出席するため、タ
ンジールへやってくる。しかし突然男達に襲われ、ソフィアはレイプされ
てしまう。カサブランカ近郊の警察署長が500人以上の女性をレイプし、
そのビデオを販売したという実際の事件をモデルにしており、警察の
腐敗、麻薬の密売などを描いて、モロッコで大ヒットした娯楽作品。
1997年/35ミリ カラー 90分 モロッコ
監督：ナビル・アユージュ 出演：ラシド・エルワリ

Lost Children's Beach

失われた 子供たちの 海岸

21日(木)19:00

24日(日)14:00



日本語字幕

モロッコ北部タンジール近くの伝統的な村。ミナにはアハメドとい
う恋人がいたが、ミナが妊娠したことを知るとアハメドは別れようとする。
ミナは誤ってアハメドを殺してしまい、ミナの父親はミナを納屋に隠し
て出産させようとするのだった。強い父権の元で閉塞される女達を象
徴的に描いた作品で、低予算ながら各国映画祭で高く評価された作品。
1991年/35ミリ/カラー/85分/モロッコ
監督：ジラーリ・フェルハーティ 出演：スアッド・フェルハーティ

Searching for
My Wife's Husband

女房の 夫を 探して

22日(金)19:00

24日(日)17:00



日本語字幕

モロッコの古都フェズに住むムッサには三人の妻がいた。三番目の妻フ
ダはまだ二十代、陽気で働き者で他の妻や子供とも仲が良かった。しかしある
日ムッサはフダの些細な行動に腹を立て、離縁してしまう。ムッサの家は火
が消えたようになり、淋しいムッサはなんとか復讐しようとする。一夫多妻制
の宗教的戒律をテーマにしたドタバタコメディで、大ヒットを記録した作品。
1994年/35ミリ/カラー/84分/モロッコ
監督：ムハンマド・アブデッラハマン・タージ 出演：ムナ・フトウ

A Summer in La Goulette

ラグレットの夏

13日(水) 13:00
16日(土) 11:00

日本語字幕付



ラグレットは首都テュニスから湖の対岸にある行楽地としても知られる港町。1967年の夏、同じアパートに住む三組の家族にはそれぞれ16才になる娘がいた。彼女たちのこの夏の目標は処女を捨てること。様々な民族、宗教が混在した時代へ郷愁を含みながら、三人の娘達の一夏の経験を中心に繰り広げられる軽やかなコメディである。

1996年/35ミリ/カラー/100分/テュニジア
監督:フェリッド・ブーゲディール 出演:ガミル・ラティフ

Good Family Girl

テュニスの女たち

13日(水) 19:00
16日(土) 14:00

日本語字幕付



アミーナは30代の主婦で裕福な暮らしだが、最近浮気をする夫に嫌気がさしていた。ある日アミーナは旧友のアイダと再会し、アイダのアパートには美容師のファティマが同居していた。三人の女性の抱える問題と悩みが繊細に表現されていく。80年代からニュー・テュニジア・シネマの中心人物として活躍しているブージット監督作品。

1997年/35ミリ/カラー/107分/テュニジア
監督:ヌーリー・ブージット 出演:アメリ・ヘジューリ

Tunisia

地中海

特別企画

映画祭

レバノン、シリア等の西アジアと、テュニジア、モロッコ等北アフリカの地中海を囲む国々の映画。

地中海映画の豊かな恵み

地中海に面した国といえ、スペイン、フランス、イタリアを思い出す方がほとんどだろう。しかし今回上映するのはそれ以外のレバノン、シリアといった西アジアの国と、エジプト、モロッコ、テュニジアなどの北アフリカの国の映画である。日本ではギリシャのアンゲロプロス監督、トルコのギュネイ監督、エジプトのユーセフ・シャヒーン監督が知られているが、ほとんどの国の映画が未知の存在であり、これほどたくさんの映画が一度に上映されることは初めてである。

この地中海の国々は古くから交流を持つ国々であり、アジアとヨーロッパとアフリカそれぞれの大陸の文化が微妙に混在している。映画にどこかヨーロッパの香りがするもの、偶然ではないのだ。宗教ではイスラム教、キリスト教、ユダヤ教等がまじり人種や文化も複雑であるため、古くから政治的な紛争が絶えない地域でもある。しかしだからこそ映画人達は困難な状況の中で、それぞれの文化や歴史に根ざした作品を作り続けている。それはまるで地中海の温暖な気候に育まれた豊かな実りのような映画だ。特に今回のセレクションは若い監督の作品を中心に構成されており、これらの国々の「今」を感じることができる。



会期: 13日(水)~24日(日)

※休館日・休映日を除く

観覧料: 600円(大人)
500円(大学生・高校生)
400円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制。

※チケットはすべて当日券です。前売り券はありません。
※福岡市在住の障害者の方、及び福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)

Turkey

Somersault in a Coffin

棺桶の中で宙返り

14日(木) 13:00
16日(土) 17:00

日本語字幕付



マフスはイスタンブールの波止場を徘徊するホームレス。彼は喫茶店で日がお茶を飲んでいるヤク中の女に恋し白昼夢を見る。また彼の夢はオスマン帝国の要塞に登り、そこを孔雀を盗むこと。90年代の急激な経済成長の中で置き去りにされた人々の殺伐とした現実が描かれる悲喜劇。撮影日数わずか24日で製作された低予算映画だが、一躍国際映画祭で注目された作品。

1996年/35ミリ/カラー/74分/トルコ
監督:デルヴィシ・ザイム 出演:アフメット・ウルル

The Third Page

第三のページ

14日(木) 19:00
17日(日) 11:00

日本語字幕付



イサはイスタンブールで暮らす俳優の卵。ある日ギャングに金を取られ、家賃の払えないイサは衝動的に大家を撃ち殺してしまう。彼を助けたのは隣室の女のマリムで、マリムはイサに夫を殺してくれと頼むのだった。少ないセリフと長回しのシーン、陰影の濃い画面など監督独特のスタイルで、転落していく男女の絶望的なドラマが描かれる。

1999年/35ミリ/カラー/92分/トルコ
監督:ゼキ・デミルクプス 出演:ルヒ・サル

Breeze of the Soul

魂のそよかぜ

13日(水) 16:00
15日(金) 13:00

日本語字幕付



サレームとマリムは共に文部省に勤める同僚。二人はお互いに一目惚れをするのだが、マリムにはユセフという許婚がいた。人は良いか押しに欠ける二枚目半のサレームと、好きなのになかなか心を通わせられないマリムの恋愛が、往年のハリウッド映画を思わせるタッチで展開するロマンチックコメディ。

1997年/35ミリ/カラー/91分/シリア
監督:アブドラティフ・アブドラハミド 出演:パッサム・クーサ

Syria

Desert's Ark

砂漠の方舟

20日(水) 16:00
22日(金) 13:00

日本語字幕付



サハラ砂漠にあるオアシスの村には二つの部族が住み水を共有していた。アミンとミリアムは部族が違うが愛し合っていた。しかしそれは許されないことで、二人の関係が発覚し、とうとう部族抗争に発展する。92年以来イスラム原理主義勢力と、政府の内戦状態が続くアルジェリアの現状が、オアシスの村に投影されている。

1997年 35ミリ カラー 86分 アルジェリア
監督:モハメッド・シュウィック 出演:ミリアム・アウフェン

Algeria

Lebanon

West Beirut

西バイルート

15日(金) 16:00
20日(水) 13:00

日本語字幕付



1975年から15年続いたレバノン内戦により、首都バイルートはキリスト教勢力とムスリム勢力により東西に分断される。フランス系の高校に通うタリクとオマルは8ミリ映画を作る映画少年だった。内戦という混乱した状況の中で、二人の少年の性の目覚めや、大人達の社会、戦争の不条理を次第に理解していく様子が綴られる青春映画。

1998年/35ミリ/カラー/105分/レバノン
監督:ジアド・ドゥエイリ 出演:ラミー・ドゥエイリ

Egypt

他者

20日(水) 19:00
23日(土) 11:00

日本語字幕付



アダムはUCLAで学ぶ学生。ある日彼はジャーナリストのハナネと知り合い、恋に落ちる。アダムの母は巨大なビジネスを遂行しており、一方はハナネは産業界の腐敗を追うという皮肉な関係だった。戦後のエジプト映画界をリードし、97年カンヌ映画祭で生涯業績を受賞するなど、欧米ではカルト的な人気を誇る巨匠シャヒーン監督の最新作。

1999年/35ミリ/カラー/101分/エジプト
監督:ユーセフ・シャヒーン 出演:ナビーラ・アベイド

エルマディナ

21日(木) 13:00
23日(土) 14:00

日本語字幕付



アリはカイロに住む役者志望の若者。なかなか目のでないアリはフランスに渡る。しかしアリはパリで一攫千金のつもりでボクシングを始め、とうとうお金のためにわざと負け試合を演じるボクサーに落ちぶれてしまう。都会の中でアイデンティティを失い、さまよう若者を描いた作品で、新しいタイプのエジプト映画と評価されている。

1999年/35ミリ/カラー/105分/エジプト
監督:ユスリー・ナスラッラー 出演:バーセム・サムラー

Date Wine

アラク白ナツメヤシの伝説

22日(金) 16:00
23日(土) 17:00

日本語字幕付



70年代、ナイル河上流の小さな村。男達はみな出稼ぎのため村を離れ、村に残った男は少年アハマドと祖父の仲間のゼイドだけだった。村にはナツメヤシの木があり、アハマドはこのヤシの実で祖父の中風を直したいと思っていた。神話と現実が融合したような小さな村での神秘的な物語で、経済発展の影で壊れていく村が痛切に描かれている。

1998年/35ミリ/カラー/110分/エジプト
監督:ラドワーン・エル・カーシフ 出演:シェリハーン

シネラ5年間を振り返る ー私的雑感

シネラは、今年29日で満5歳を迎える。映画100年の歴史や、市内の映画館や映画関係者からみても、まだまだヒヨコで、振り返るほどのたいそうな履歴がある訳ではないが、少し思い出に浸らせてほしい。

シネラは平成8年6月29日、黒澤明監督の「羅生門」を柿落しとして、当時の収蔵作品からアジア映画、日本映画の名作各10本を特集した上映企画「シネマ・パラダイス」から始まった。つい昨日のように思われるが、あつという間の5年である。

福岡市総合図書館の映像部門は、アジアのフィルムセンターを目指して、アジアの名作映画を中心として、フィルムの収集・保存を行っている。シネラは、収集したフィルムを公開していく場でもあり、国別特集、監督特集、テーマ別特集などの上映企画を組みながら、アジア映画の普及に力を置いてきた。また、日本映画についても、年代別特集、監督特集、女優特集、カメラマン特集など、様々な切り口で紹介。さらには、年に数回は上映企画と連動して、映画関係者の講演会や映像セミナーを実施し、映像文化の普及に努めている。

また、近年では、アジアの「今」を伝える「アジアのドキュメンタリー」や、「A.D. 2000／映画零年～作家との対話～」揺れるジェンダー／揺るぐセク

シャリティー」などの作家性やテーマ性を強く持った企画、さらには直近の「60's～70'sアートフル・ムービーの全貌」のように時の流れの中に置き忘れられてしまった映画が、福岡発で他都市に巡回されるなど、様々な新しい発信にチャレンジしている。多数のメディアで紹介されたり、映画関係者から評価をいただく企画も多いが、そのこと＝集客に必ずしも結びつかない点が苦勞の種であるものの、今後とも企画性、集客性の二兎を追う努力を重ねていきたい。

ところで、昨年12月に実施した「ゴダールの映画史」の講演会で、青山真治監督が映画界に入るきっかけとなったのが20年近く前に西新で観たゴダールの「気狂いピエロ」と「彼女について私が知っている二、三の事柄」であったと話されていた。シネラの上映作品を観て、第二、第三の青山真治監督が誕生することになれば、本当に嬉しい限りである。

この5年間で約150の上映企画が実施され、延上映プログラムは1,200近くになる。数は膨大だが、その中の映画一本一本が企画担当者にとって、愛着の深いものである。シネラをご愛顧いただいている方々にとっても、色々な形で思い出深い一本になっていければ幸いである。

さて、8月にはシネラ5周年を記念して、特撮映画の原点的な作品の特集を予定している。幅広い層に楽しめる映画であり、この機にシネラ未体験の方も是非ご来場いただき、次の5年間のシネラの歴史と一緒に刻んでいただきたい。

映像資料課 柳田実



シネラで講演中の
青山真治監督

お知らせ

ギャラリー展示

第5回文書資料新収蔵品展 「郷土福岡の歴史」

平成11年度に新たに、御寄贈、御寄託いただいた文書資料、及び当館が購入した文書資料の中から代表的なものを選んで、第5回文書資料新収蔵品展を開催いたします。

会 期：6月29日(金)～8月30日(木)
会 場：福岡市総合図書館1階ギャラリー
観覧料：無 料

お問い合わせ／福岡市総合図書館文書資料課古文書係

各団体の自主上映

- 6月2日(土) 10:30/13:55
美空ひばりさん13回忌上映会
「二人の瞳」(監督：仲木繁夫)
「ひばりの子守唄」(監督：島耕二)

観覧料／前売：1,500円
当日：2,000円
主 催／W・L・C福岡
(Tel. 092-741-7687 瓜生史郎)

- 6月3日(日)
よみがえるロシア・アニメ2001

11:00～ Aプログラム
よみがえる名作「雪の女王」外5本
14:00～ Bプログラム
ノルシュテインの世界「話の話」外5本
16:00～ Cプログラム
ロシア・アニメ最新作「水の精」外8本

観覧料／前売：1,000円(1プログラム)
2,500円(3プログラム)
当日：1,200円(1プログラム)

主 催／福岡映画サークル協議会
(Tel. 092-781-2817)

※自主上映の詳細については、直接主催者にお問い合わせ下さい。

映像ホール利用申し込みについて

映像ホール・シネラで自主上映(非営利に限る)を希望される方は、下記のとおり利用申込みの受付を行いますのでお申し込みください。

○利用申込対象期間

平成13年12月から平成14年5月まで
※対象日は別途配布の申込用紙に掲載しています。

○申込受付期間

平成13年6月1日(金)～6月13日(水)※休館日を除く

○抽選日

平成13年6月16日(土)午前11時より

○抽選会場

福岡市総合図書館・3階第2会議室

○利用申込用紙

福岡市総合図書館で配布中の申込用紙をお出し下さい。

お問い合わせ

福岡市総合図書館映像資料課(事業係)
〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
TEL 092-852-0608

シネラNEWS送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成13年7月号～平成14年3月号までの郵便切手(90円×9ヵ月)を同封の上、下記宛先へお申し込みください。

宛先：〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館 映像資料課

ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄、デジタルビデオの編集は不可)

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

6月

上映スケジュール

1 金	休 映 日		
2 土	自主上映「美空ひばりさん13回忌上映会」		
3 日	自主上映「よみがえるロシア・アニメ2001」		
4 月	休 館 日		
5 火	休 映 日		
6 水	14:00 プログラムA	16:30 プログラムB	19:00 プログラムC
7 木	14:00 プログラムJ	16:30 プログラムK	19:00 プログラムE
8 金	14:00 プログラムI	16:30 プログラムM	19:00 プログラムF
9 土	11:00 プログラムH	13:30 プログラムD	16:00 プログラムG
10 日	11:00 プログラムO	13:30 プログラムN	16:00 プログラムL
11 月	休 館 日		
12 火	休 映 日		
13 水	13:00 ラグレットの夏	16:00 魂のそよかぜ	19:00 テュニスの女たち
14 木	13:00 棺桶の中で甦り	16:00 エッジオブサシティ	19:00 第三のページ
15 金	13:00 魂のそよかぜ	16:00 西ベイルート	19:00 その長き道のり
16 土	11:00 ラグレットの夏	14:00 テュニスの女たち	17:00 棺桶の中で甦り
17 日	13:00 第三のページ	14:00 その長き道のり	17:00 エッジオブサシティ
18 月	休 館 日		
19 火	休 映 日		
20 水	13:00 西ベイルート	16:00 砂漠の方舟	19:00 他 者
21 木	13:00 エル マティナ	16:00 運 命	19:00 失われた子供たちの海洋
22 金	13:00 砂漠の方舟	16:00 アラク 白ナツメヤシの伝説	19:00 女房の夫を探して
23 土	11:00 他 者	14:00 エル マティナ	17:00 アラク 白ナツメヤシの伝説
24 日	11:00 運 命	14:00 失われた子供たちの海洋	17:00 女房の夫を探して
25 月	休 館 日		
26 火	休 映 日		
29 金	休 映 日		
30 土	月 末 休 館 日		



交通アクセス：当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄：西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス：天神～都市高速線由～福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約20分)

博多駅～都市高速線由～福岡タワー南口

(所要時間 昼間で約25分)

福岡タワー南口バス停から徒歩3分

いずれも、昼間は10～15分間隔で運行されていますので大変便利です。

お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセン

ター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

編集雑誌

映画が作られているのはハリウッドばかりではない。こんな素晴らしい映画があったのかと、突然ある国の映画が話題になることがある。ここ数年間で、インド、イラン、そして韓国と続々さまにブームが起きている。さらに、私たちがなじみの薄い国の映画は、まだまだたくさんある。そこで、梅雨の時期にお届けするのは、青く輝くあの地中海を囲む国々の映画特集。といっても、フランスやイタリアという観光でも映画でも有名な国ではなく、国は知っていても映画は観る機会が少ない国々の傑作の数々。題して「地中海映画祭」。是非ご覧ください。(M.Y)

280 古紙配合率80%再生紙を使用しています。

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

福岡市総合図書館(代表) 092(852)0600 映像資料課 092(852)0608 Fax. 092(852)0609

福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>

デザインワークス/VOW OFFICE co., ltd.

印刷/(株)ドミックスコーポレーション